

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

スポーツ関連施設の建設が加速

『朝鮮新報』2013年8月23日付、9月12日付によれば、北朝鮮で各種スポーツ関連施設の建設が加速され、完成が近づいている。江原道元山市近くには、ゲレンデ総延長が11万メートル、500人を収容する地上8階、地下3階のホテルなどを含めた、北朝鮮発の民間用スキー場である「馬息嶺スキー場」の建設が軍人により進んでいる。平壤市郊外では美林乗馬クラブを民間転用するためのリニューアル工事が進められ、東平壤の大同江区域では紋繡遊泳場が建設、市内中心部の平壤体育館のリニューアル工事も最終段階に達している。金正恩第1書記は、8月6日と9月14日に平壤体育館、8月9日と9月22日に美林乗馬クラブと紋繡遊泳場、8月17日に馬息嶺スキー場の建設現場を視察した。

このうち、平壤体育館は9月初め、紋繡遊泳場は10月15日、美林乗馬クラブは10月25日にそれぞれ竣工した。

建国65周年記念行事が進行

『朝鮮新報』2013年9月12日付によれば、同9月8日、平壤市の平壤体育館で中央報告大会、5.1競技場で大マスケームと芸術公演「アリラン」、翌9日には金日成広場で労働赤衛軍閲兵式および平壤市民パレード、市内で朝鮮人民軍内務軍協奏団の公演が行われた。金正恩第1書記は、閲兵式と内務軍協奏団公演に参加した。

第2回中朝経済貿易文化観光博覧会開催（中国・丹東）

『朝鮮新報』2013年10月17日付によれば、2013年10月10日～14日、中国・遼寧省丹東市で、第2回中朝経済貿易文化観光博覧会が開催された。開幕式には、遼寧省の志剛副省長をはじめ省と市の党、政府、文化、経済、貿易関係者、丹東市民、劉洪才・駐朝中国大使、駐朝各国外交代表が、また朝鮮側から平安北道人民委員会の洪吉男副委員長を団長とする同博覧会代表団員、金光勲・瀋陽駐在朝鮮総領事、在中朝鮮人総連合会の崔銀福議長らが参加した。同11日から開催された中朝商品展覧会には、朝鮮と中国で生産されたCNC工作機械と軽工業製品、食品、医薬品をはじめ1,900余種に5万余点の製品が出品された。

国家経済開発総局を国家経済開発委員会へと改組

2013年10月16日発『朝鮮中央通信』によれば、国家経済開発総局を国家経済開発委員会にする最高人民会議常任委員会政令が発表された。

朝鮮経済開発協会が組織され、平壤で国際討論会開催

2013年10月16日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮経済

開発協会が組織され、活動を開始した。これは、国家経済開発総局が国家経済開発委員会へと改組されたことに関連していると考えられ、同協会は国家経済開発委員会を対外的に代表する組織であると考えられる。

2013年10月22日付『朝鮮新報』によれば、同協会の初の活動として同月16～17日、平壤市の羊角島国際ホテルで北朝鮮の特殊経済地帯の開発に関する平壤国際討論会が開催され、朝鮮経済開発協会関係者、金日成総合大学、人民経済大学、社会科学院をはじめ関連部署の教授、経済専門家とカナダのプリティッシュコロンビア大学、中国香港中文大学、インドのデリー大学、マレーシア計画・経済研究所、米国のウィスコンシン大学など各国の学界、経済界の専門家が参加した。討論会では、特殊経済地帯計画作成の特性と実例研究、特殊経済地帯の管理、特殊経済地帯と投資、特殊経済地帯の発展過程などについて重点的に論議された。

金日成総合大学教育者住宅が竣工・入居開始

『朝鮮新報』2013年10月21日付によれば、同月9日、平壤市内の金日成総合大学教育者住宅（教職員住宅）が竣工した。竣工式には、金正恩第1書記が参加した。

また、同月14日には住宅の利用証書を授与する集会在同大体育館で行われ、入居が開始された。これらの住宅は、無償で供給されたそうである。

内閣拡大総会が開催

2013年10月21日発『朝鮮中央通信』によれば、内閣拡大総会が行われた。同総会には、朴奉珠総理をはじめ内閣メンバーが参加した。また、内閣直属機関の関係者と管理局の局長、道市郡人民委員会の委員長、道農業経営委員会の委員長、道地区計画委員会の委員長、道食料日用工業管理局の局長、主要工場、企業所の支配人がオブザーバーとして傍聴した。

同総会では、第3四半期の人民経済計画遂行状況の総括と第4四半期および今年の人民経済計画を成功裏に遂行するための対策について討議された。全勝勲副総理の報告に続き、各討論が行われ、数千の工場、企業所が第3四半期の人民経済計画を超過遂行し、500余の工場、企業所が9月末現在で年間人民経済計画を早期遂行したことが言及された。

同総会ではまた、第4四半期に内閣に提起される中心課題は、石炭と鉄鋼材の増産に力量を全て集中して人民経済の先行部門（電力、石炭、金属、鉄道運輸）、基礎工業部門を立て直し、全般的生産を活性化するとともに、経済建設の主力を注ぐ方向である農業および軽工業部門に大きな力を入れ、消費財の生産を決定的に増やし人民の食糧問題、消費財問題を円滑に解決することだと指摘された。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）